

No.17 2026年3月22日

受難節(レント)第五主日礼拝  
 説教『理解されなくても』  
 吉丸初美師  
 司会 安部 愛さん  
 奏楽 白石百合子さん  
 招詞 ヘブル人への手紙 5章1～6節  
 主の祈 (564)  
 讃詠 5 4 6  
 交読詩編 詩 4 3 編  
 祈禱  
 讃美歌 21 - 2 9 4  
 使徒信条 (566)  
 聖書 マルコ福音書 10章35～45節  
 説教 (口語訳69頁、新共同訳82頁)

『理解されなくても』

祈禱  
 讃美歌 21 - 3 0 5(1,2,6)  
 献金  
 感謝  
 報告 5 4 0  
 頌  
 祝  
 後奏

次週の礼拝(受難週 棕櫚の主日礼拝)  
 説教『ろばの子に乗って』  
 ヨハネ福音書 12章12～19節  
 招詞ピリピ人 2章6～11節/交読詩篇55編1～12  
 讃美歌 546、21-309、21-298、541

礼拝当番  
 今週 22日 司会 安部 愛さん  
 次週 29日 司会 吉丸 初美さん  
 会堂清掃奉仕 4月5日(日)  
 コーヒータイムの後にいきます。

本日の集会

★教会学校 午前9時45分  
 ★出合いのひととき 礼拝後～  
 それぞれの思いを語り合しましょう。

●レコードコンサート 13時～15時30分  
 ヴェートーベン ピアノ三重奏 変ロ長調(大公)  
 ヴェートーベン 弦楽四重奏 第13番 変ロ長調  
 ヴェートーベン 交響曲 第8番 へ長調 作品93  
 お誘いあわせのうえご参加ください。

§堀川恵子さんと山根眞三さんの懇談協議 午後  
 良い時となるようにお祈りください。

今週の集会/スケジュール

§2026年度広島市キリスト教会連盟総会 3月26日  
 (木)15時～ 於:日本福音ルーテル広島教会  
 §広島県教誨師会定例総会 3月27日(金)13時～  
 於:広島ガーデンパレス  
 §広島西分区定期全体会議 3月28日(土)13時～  
 於:広島教会

次週以降のスケジュール等

★聖書を読む会 3月31日(火) 10時30分～12時  
 創世記12章を読みます。

★聖金曜日・受難日祈禱会 4月3日(金)15時～  
 この日は主イエスがゴルゴダの丘で十字架に架  
 けられた日です。讃美歌を歌い、聖書に出会い  
 心合わせて共に祈る時を持ちましょう。†

★イースター祝会4月5日(日)コーヒータイム茶話会  
 を行います。イースターエッグ用意しております。  
 卵が苦手な方のイースターエッグもあります。  
 差し入れできる方はよろしく願います。

★4月定例会教会役員会4月5日(日)コーヒータイム後  
 教務・教勢報告、会計報告、教会総会に向けて協  
 議します。役員の仕事と健康を覚えお祈りください。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	0	0
主日礼拝	1	4	5

◇今週の説教要旨(受難節レント第五主日礼拝)  
 『理解されなくても』マルコ福音書 10章35～45節  
 今私たちの心には将来への不安があります。至る所  
 でいともたやすく戦争が起きる中為政者たちは与えられて  
 いる力を正しく使っているのだろうかと考えてしまいます。  
 権威と権力の違いを見るようです。「人の上に立つ」とはし  
 ばしば権威と結びついて語られます。しかし国内外を見る  
 時その意味がイエスさまの時代とあまり変わっていないよ  
 うに感じます。力を持つ人はその力で人を動かし権力を持  
 つということは人の上に立つことだと考えられがちです。  
 それは二千年前の世界も同じでした。今日の箇所でも弟子  
 はイエスさまに高い地位をくださいと願いました。ほかの弟  
 子たちも同じ思いだったようです。弟子たちもまたこの世界  
 の考えの中に生きていました。その時彼らに偉くなりたいと  
 思う者は仕える人になるように言われます。この言葉はと  
 ても美しい言葉です。でも同時にどこか不思議な言葉でも  
 あります。なぜならこの世の常識とは余りにも違うからです。  
 更には僕となることも示されました。そこで私たちは思いま  
 す。それは理想としては美しいけど本当にそんな生き方が  
 できるだろうか。またその意味を理解できないと。でも聖書  
 を読んで気づきます。イエスさまの傍にずっといた弟子自  
 身もまた最初からこの言葉を理解していたわけではありま  
 せんでした。それでもこの言葉を語り続けられたのです。  
 そして最後にはご自分の命によってその意味を示されまし  
 た。ここで私たちは一つの問いに向き合うことになります。  
 それは「仕えるとは何か」と言うことです。それは目立つこと  
 ではなく人に気づかれないことが多い食事の給仕をするよ  
 うな働きです。そこには相手を思う慈愛の心が必要です。  
 愛がなければ続けることのできない働きです。イエスさまは  
 弟子たちにも周囲の人たちにも理解されなくても彼  
 らを拒み退けることをされずに愛し仕えられました。理解さ  
 れなくても理解できない人々も愛しているから仕えられた  
 のです。深い愛を持って。私たちは理解されないのに人  
 を愛することができるでしょうか。また理解できなくても愛す  
 ることができるでしょうか。仕えるために…